

岡山の 大学へ 行こう

vol. ③ 活躍する卒業生

岡山県内の大学・短大の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの最後は、社会で活躍する卒業生が登場します。大学での学びや、現在の仕事のやりがいについて聞きました。また大学生の経済事情を、全国大学生協連の調査から読み取ります。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 視能矯正専攻
(現リハビリテーション学部 視能療法学科) (2019年卒業)

三宅 美鈴さん

川崎医科大学附属病院 眼科



実際の医療現場で経験を積む

私たちは日常生活の大変多くの情報を視覚から得ています。その大切な眼の健康を守る事に就きたいと思ひ、視能訓練士を養成する川崎医療福祉大学感覚矯正学科視能矯正専攻(現視能療法学科)に進学しました。

視能訓練士は、眼の状態を調べるさまざまな検査をはじめ、弱視や斜視の訓練などを行う専門職です。大学では眼球の解剖・機能などの基礎や検査法・評価法について学んだ後、2年生の秋には隣接する川崎医科大学附属病院での実習が始まりました。患者さんに検査について理解してもらえ

るよう説明するのは大変でしたが、早いうちから医療現場で学べたことは、自分にとってとても良い経験になりました。



卒業生発表会

4年間をともに過ごした仲間たち。右から左へ目が三宅さん

眼の健康を守る視能訓練士に



患者さんに眼底検査をする三宅さん

わたることが出来る病院で働きたいと思ひ、附属病院への就職を希望しました。現在は、高齢者も多い白内障、緑内障から0歳児の先天性障がい等の検査・評価まで幅広く担当しています。診察、検査、治療、訓練を経て「お見えてよくなりました」と喜ぶ患者さんを見るのが大きなやりがいを感じます。多職種と連携し患者さんにもっと信頼される視能訓練士になれるよう、努力を続けていきたいと思ひます。

〒701-0193
倉敷市松島288
川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464-1064